

一般質問とは、町の施策等について、議員が町に考えや意見を求めるものです。議会だよりでは、このやりとりを要約して報告します。



戸口 勝が問う

「地場産の野菜をもっと買って、もっと食べて、宣伝しましょう。」

農業の稼ぎと移住率の向上を

Q 当町の農業施策現状を聞く。

A 環境農林課長 当町の地理的特性を生かし、他地域との価格競争ではなく、独自性を打ち出した内容をオガワプロジェクトとして展開し、農業政策の目玉として進めます。

Q 学校給食へのオガワ野菜の使用状況と今後の使用増を。

A 環境農林課長 平成28年度は有機野菜の使用を行いました。ただし、オガワ野菜として発注は行なっていません。



オガワ野菜の生産・販売向上と、おがわ型農業の担い手の育成を。

Q 「農のある暮らし」を軸とした移住の成果と今後の体制は。

A 環境農林課長 日本農業実践学園主催の週末農業体験として、当町の有機農業実践農家4軒で「農ある暮らし講座」が開設され、研修生を受け入れました。これを機に、当町の農業に興味を抱き移住に至った方がいます。過去3年で、13人中9人の方が新規就農者として移住をしました。この流れを大切に、就農相談や研修受け入れに対する支援を行なっていきます。



笠原 武が問う

「地域住民の理解を得ていないことは、するべきでない。」

9市町村の焼却炉建設は一考を

Q 現在、埼玉中部資源循環組合（9市町村）で大焼却炉建設が計画されているが、当町としてはどんな協議がされたのか。

A 環境農林課長 小川地区衛生組合では、焼却施設の老朽化で10年以上前から協議されてきました。その結果、組合管内では建設候補地が見つからず、構成5町村では費用面の負担等総合的に考えて、困難との判断に至ったと聞いています。

Q ごみ処理が広域になると、ごみ運搬に費用がかかり過ぎるだけでなく、焼却炉周辺では交通渋滞も起こりうると思うが。

A 環境農林課長 収集運搬委託費用は、現在の2・5倍程度と見込んでいます。交通渋滞対策は施設内の導線を長くし、順番待ちの車が公道に出ないようにします。

古寺鍾乳洞公開について

Q 当町の貴重な宝、古寺鍾乳洞公開についての進展はあったのか。今後の見通しは。

A 生涯学習課長 土地所有者との話し合いを重ね、鍾乳洞のある土地を町に寄附していただけることになり、過日土地寄附契約書を取り交わしました。一般公開となると、整備や管理運営について長期的視野が必要となります。



建設当初から42年が経過した小川地区衛生組合の「ごみ焼却場」。



井口亮一が問う

「和解では建設しない約束した場所に建設していいの。」

町民に受け入れられないのでは

Q 和解での建設しない約束を無視する行政姿勢は人権軽視ではないか。

A 環境農林課長 34人の債権者と中部環境保全組合の間に和解が成立したものであり、中部資源循環組合は別団体のため、法的効力は及ばないと考えています。付帯施設の内容や建設費は、作業部会で話し合わせ、合意に至ったのか。

Q 環境農林課長 付帯施設の協議は3回行なっています。その中で施設の内容・規模・費用負担など議論されましたが、合意には至っていません。

Q ごみを吉見町まで運ぶのは余りにも遠いが、運搬費用はいくらになるか。

A 環境農林課長 現在の収集運搬費用は年間2730万円ですが、2・5倍の7000万円超になると見込まれます。

Q 町の財政状況はきびしく町民の要望が実現しにくい中で、多大な運搬費用は町民に受け入れられるか。

A 環境農林課長 建設費用のスケールメリットや運転効率の改善、地球環境負荷の低減や余熱利用などたくさんメリットが期待できるものと考えています。

Q 全ての情報を公開した上で、住民に寄り添った説明会の実施は。

A 環境農林課長 現時点で説明会を開催する予定はありませんが、検討していきます。



老朽化した小川地区衛生組合ごみ処理施設。



返さなくていい大学の就学助成金、しっかりした制度がほしい。

(S・Tさん・40歳)



(Sさんファミリー・50代)



(Sさんファミリー・17歳)



(Sさんファミリー・53歳)

芝生のサッカーグラウンド。



特徴のある神社仏閣があるのかな。

(S・Yさん・66歳)

Mini Column

オガワマチのことギカイのこと一緒に見よう、考えよう

「小川町に必要なもの」